



# 世田谷稲門会会報

平成22(2010)年4月20日  
**第43号**  
 発行人 世田谷稲門会 一夫彦行子利稔  
 発行集 世田谷稲門会 健邦明秀信尚  
 上島村内子坂川  
 世田谷稲門会 寺岩大兼宮小  
 〒156-0043  
 事務局 世田谷区松原5-19-4  
 東京 横田吉明方  
 TEL/FAX03-3324-7046

2010 早稲田大学校友会125周年  
**ともに世界へ ともに未来へ**

早稲田大学校友会設立一二五周年記念  
**世田谷稲門会第十九回定時総会**  
 五月二十二日(土)  
**ホテルグランドパレスで開催**

世田谷稲門会の第十九回定時総会は五月二十二日(土)午後四時三〇分から千代田区九段下にある「ホテルグランドパレス」で開催する。総会の詳細は、同封別紙の「第十九回定時総会のご案内」を参照ください。当日ご出席いただけない場合は、委任状(返信用はがき)にご記名、ご捺印のうえご回答ください。また、ご出席をお願いします。会費八千円。

総会終了後、早稲田大学来賓から学内事情報告を兼ねたご挨拶を、また今年早稲田大学校友会が二五周年を迎えるにあたり校友会代表幹事福田秋秀氏をお招きしてご挨拶をいただきます。

なお会場はこれまで永年使用してきた「こまばエミナス」の閉鎖、会員の大幅な増加により、交通の便の比較的良好いホテルグランドパレスにきまつた。(地下鉄「九段下駅」下車。半蔵門線・都営新宿線3a番口、東西線7番口)

## 露木茂氏が講演

その後「講演会」および「懇親会」が行なわれる。記念講演会では世田谷稲門会会員でもある露木茂元フジテレビアナウンサーに「テレビの過去・現在・未来」と題して講演していただく。

露木茂氏略歴



昭和十五年東京生まれ。昭和三八年早稲田大学政治経済学部卒業。同年フジテレビに入社。小川宏シヨ、スーパータイム、報道二〇〇一などの司会、キャスター。ギャラクシー大賞、テレビ大賞受賞、担当した日航機墜落事故特別番組は日本新聞協会賞を受賞。

在職中、早大大学院入学、政治コミュニケーション専攻。フジテレビエグゼクティブ兼解説委員を経て平成十四年退職。同年東京国際大学教授に就任。早稲田大学客員教授を兼ねる。著書「メディアの社会学(いなほ書房)」「マスコミュニケーション論(学文社)他」。

## 母校の今 - 第16回 -

### 〔早稲田大学の付属校・系属校の紹介〕 ① 初の海外系属校『早稲田渋谷シンガポール校』

早稲田大学には現在、付属校が2校、系属校が5校ある。今回から、これら付属、系属各校の概要と最近の動きを順次取り上げて紹介してみたい。シリーズの第1回目として2002年(平成14年)に初の海外系属校として開校した『早稲田大学系属・早稲田渋谷シンガポール校』を紹介してみよう。

同校はグローバル化の流れの中、増加の一途を辿るシンガポールの在住邦人のニーズに応えるかたちで、早稲田大学の伝統と渋谷教育学園の豊富な海外教育の経験を融合し誕生した系属校である。その掲げる目標は、「アジア地域への貢献」と「地球市民の育成」、そして「継続性ある現地との触れ合いの機会を生徒に提供し、日本とシンガポール双方の文化に対する理解を深める」ことだという。カリキュラムには習熟度別の少人数のクラス編成、一クラス4名の英会話授業、早朝と放課後合わせて3時限の講習実施、休校期間中の多様な講習会の開催等々、同校独自の学習プログラムが組み込まれている。

シンガポールは言うまでもなく、過半数を占める中国系とマレー系、インド系など異なる文化を持つ民族が混在する多民族国家だ。同校ではこの独特の環境の下、異文化理解教育には特に注力、年間20

以上の異文化理解行事を実施している。具体的には、現地校の協力を得てのホームステイや体験入学の実施や、同年代の人たちとの異文化交流を積極的に行っている。その結果、現在60%以上の生徒が現地の友人との交流を続けているという。また、シンガポール国立大学や経営大学に於ける大学教育の授業の参観だけではなく、日本語授業のアシスト活動など現地社会への貢献にも意を注ぐ。掲げる目標への同校の更なる挑戦とその成果に注目したい。

【早稲田渋谷シンガポール校の概要】  
 ◎学校長：小口彦太(法学学術院教授)  
 ◎所在地：57 WEST COAST ROAD SINGAPORE 127366  
 ◎TEL：010-800-6771-8118 (日本国内から通話無料)  
 ◎一学年定員：男女計90名(毎年卒業生の30%が推薦枠で早稲田大学各学部へ進学している)

(大内 秀行/記)





# 新たな活動広がる 新春懇親会で岩上会長挨拶

平成二十二年度の世田谷稲門会新春懇親会は一月二十日(土)午後五時から「こまばエミナーズ」で新入会員十九人を含む百四十人が出席して開催された。

まず岩上健一会長が挨拶に立ち「当会最大の課題である新会員勧誘活動は着実な成果を上げており、部会も青年部会、俳句の会が加わり一段と活発化している。また昨年はプロック会の玉川会が納涼会を担当して『たまがわ花火大会』を観賞、さらに世田谷三田会との交流開始など新機軸の活動が多岐に広がった」などと語った。

第一部の講演会は柏良子副会長の司会で進行、野球評論会の荒川博氏が「野球よまやま話」と題して、中学生だった王貞治氏との出会いからホームラン王に育てるまでの二人三脚の努力などについてユーモアたっぷりに約一時間講演し、会場を沸かせた(講演要旨は別項参照)。

第二部の懇親会は寺島邦夫幹事が司会。新会員勧誘キャンペーンで六十三人増えて会員数が四百二人と大台に乗り、さらに五百人を目指して活動していくと報告し、新春懇親会に参加した十九人を紹介した。続いて新発足した青年部会の中島史郎幹事が会の運営方針を説明。また来賓の市野瀬義明大田稲門会会長、横山誠二世田谷三田会事務局長、飯田浩一世田谷三田会幹事がそれぞれ挨拶した後、山田實校友会東京都二十三区支部長・杉並稲門会会長の乾杯の音頭で丸テーブルを囲んでブロック別の夕食会が始まった。



懇親が盛りあがったところで恒例の福引に移った。柏良子副会長が進行役を務め、各

自の名札に挟み込まれた番号が当たる度に拍手、歓声が上がった。福引抽選が終わったところで閉会の時間となり、岩上会長のリードで校歌を斉唱、散会した。

## 荒川氏講演要旨



人生は人との出会いが大事だとつくづく思う。私が今日あるのもいい出会いがあったからだ。なかでも王貞治との出会いが人生最高の出会いで、いい思いをさせてもらった。

王との出会いは私が毎日オリオンズ二年目の秋。たまたま地元の墨田公園で少年野球を見てみると、体格のいい少年が左で投げて右で打っていた。

一、二打席を凡打し、三打席目のとき打席に近づいて「坊や、左で打ってごらん」と言ったから「ハイ」と左打席にはいり、二塁打を打った。その素質もさることながら「ハイ」という素直さに驚いた。王は中学二年生だった。

試合が終わるまで待って「君は将来野球が絶対上手くなる。俺の母校早稲田実業で野球やらないか」「ハイ、やりたいです」。早速中学の先生に会って「王を早実に入れて全国制覇する」と宣言。翌週押上駅前のラーメン屋「五十番」に行ってお父さんに話したら「とんでもない、息子は両国高校から東大に入れるんだ」とけんもほろろ。困ったなあと思いつつも「万一都立の志望高に落ちたら電話して」と帰った。

一年後に電話が鳴った。王は早実高校に優秀な成績で入学、二年生の春の高校野球でエースとして全国制覇を成し遂げ、読売ジャイアンツに入団した。オリオンズを退団した翌年の三十七年、川上哲治監督から「素質はあるが怠けている王を指導してくれ」と頼まれ巨人の打撃コーチに就任した。入団後三年間の王は三振王と言われホームランは七本、十七本、十三本にとどまっていた。王に「練習していかないのか」と聞いたから「グラウンド以外で練習したことがない」という。早速「三冠王を目指しホームランはベーブランスの七百十本を抜くんぞ」と言いつつ朝晩の猛練習を開始したが、成果は上がらなかった。

忘れもしない半年後の七月一日の川崎球場での大洋戦の前に別所毅彦ヘッドコーチに「王が打てないから勝てないんだ」とポロクソに言われた。頭に来て打たせますよと言つて王を呼んだ。「ステップすると腕が動くから練習したように足を上げて腕を動かすな」と命じたら王はハイと答えて二打席目にホームランを打った。この試合で王は五打数三安打、王の一本足打法がスタートした。

この年、王はホームラン三十八本、打点八十五で二冠王になった。三年目に王はホームラン五十五本の日本新記録を出した。王との契約は三年間、「もう教えることはない、あと十年はもつ」と言ったら王は正座して「今まで以上にしごいてください」と頭を下げた。王ほど習うことに素直な人間はいない。二年連続の三冠王にもなった。

私が宣言した高校野球の全国制覇も三冠王もベーブランスを抜くホームランもホラではなかった。ホラは嘘と違い夢と希望がある。「ホラ見る」と言いたい。大きな夢を持つて努力すること、努力に勝るものはない。



## 部会だより

### 青年部会

1月29日(金)、大隈記念タワー16階にある早稲田大学校友サロンで第1回青年部会が開催され、岩上会長、横田事務局長、世話人の寺島幹事、島田幹事にもご参加いただき、計20名が集まりました。現役世代が対象ですので、スタート時間もやや遅い19時としましたが、楽しい雰囲気のもと青年部会の今後の運営等について活発な議論が行われ、有意義な会合になったかと思えます。議論の中でご意見の多かった早稲田OB/OGと世田谷という二つの接点を持つ現役世代の方々による異業種交流というコンセプトを中心に、青年部会を運営していければと思っています。第1回青年部会で承認された幹事と役割分担は次のとおりです。

- ・中島 史郎 (昭59年法卒：渉外担当)
- ・神谷 直希 (平1年政経卒：企画担当)
- ・薦田 誠 (平9年法卒：会計担当)
- ・西村 准也 (平16年商卒：広報担当)

第2回青年部会を初夏(5~7月)に予定していますので、企画等が決まり次第ご案内します。青年部会に関するご意見や第2回の企画提案、是非次回は参加したいとお考えの方は、setatou.seinen@gmail.comまでご連絡をお願いします。(神谷 直希/記)



(新年会で挨拶する幹事)

### 芸術・芸能鑑賞部会

#### 「国立劇場での文楽・三越劇場でのお芝居を鑑賞」

芸術芸能鑑賞部会も発足後1年半となり、この間、音楽関係、落語、歌舞伎、文楽、能狂言、お芝居、など数多くのイベントを紹介して来た。お蔭様で会員も40名を突破し新入会員も多く、出来るだけ皆さんの意向を反映した鑑賞会を企画したい。昨年は師走に、「善竹富太郎の狂言会」と「三越師走寄席」の紹介で締めた。特に三越師走寄席は15名の参加を数え盛り上がった。更に今年に入り1月下旬に第10回目の鑑賞会を案内した。花田玲子さんの2月20日の「シャンソンフォーリー・2010」、と3月13日の「ポピュラー音楽祭」、3月28日には会員の岡村喬生さんのライブワーク「岡村喬生の冬の旅」、会員の金さんの「アンサンブルOf トウキョウ定期演奏会・全4回」、更に4月19日の「すがはらやすのりコンサート2010」を紹介した。3月・4月の歌舞伎座さよなら公演は今回に限り団体での座席確保は難しく、各人での御手配を御願した。3月の案内では人気の(文楽)を5月19日に国立劇場で「祇園祭礼信仰記」・「碁太平記白石噺」・「連獅子」を鑑賞予定だが、文楽の座席確保は大変難しく、前回ご紹介した「豊松清十郎」さんに特別に座席確保を御願した。6月中旬には御待ちかね三越劇場での早大卒の加藤剛さん主演の「大岡越前」を予定。3月初旬時点では具体的な配役は主演以外は未定。決まり次第会員には案内する。4月30日には地元の下北沢[本多劇場]での笠原章・中山仁・仁科亜季子の[丹下左膳]を紹介した。新入会を歓迎します。ご家族・ご友人とご一緒に鑑賞会をお楽しみ下さい。



世話人：柏 良子 麻生卓司 鈴木宏治  
申込み先：鈴木TEL/FAX 03-3307-2201

(鈴木 宏治/記)

### 俳句の会

当句会(さくら句会)は、毎月1回(原則として第2月曜日午後1時半)より、高橋悦男先生から出された兼題と季節の句を持ち寄って、楽しいひと時を楽しんでいます。2月の句会では、兼題の『立春』と早春に相応しい俳句による句会を桜新町区民集会所で開催しました。当日の特選句及び高得点句を紹介致します。

|               |     |
|---------------|-----|
| 七島の二島となりて海霞む  | 悦 男 |
| 立春の富士中空にありにけり | みづほ |
| 春立ちてほころび顔の道祖神 | 犀 川 |
| 雪吊りと紅梅の庭春立ちぬ  | 勝   |
| 雛市や笑み一杯の老夫婦   | 利 水 |

5月の句会は5月17日(月)午後1時30分より桜新町区民集会所で開催されます。この機会に俳句に興味のある人、特にこれから俳句をやってみようかと思う人には資料を差し上げますので、ぜひ気軽に見学してみてください。

江原利次 電話/FAX: 5760-7118  
メール toshi@r01.itscom.net

(江原 利次/記)



## ゴルフ

春本番となり、いよいよ私たちゴルファーの出番がやってまいりました。今年もプロの世界では男女ともに賑やかな、また楽しみな一年となりそうです。新会員勧誘策のお陰で、ゴルフ部会への入会希望者も多数おられます。ますます賑やかな部会となるよう、新加入の方々の活躍を一同心から期待しています。昨年より岩上会長はじめ皆さまの発案による世田谷三田会との交流の第一歩をゴルフを通じ実現いたしました。これが交流の裾野を色々な分野に広げて行く機会となるでしょう。

ここで第1回目となった三田会との懇親コンペについて少し報告をします。昨年12月11日、三田会主催により烏山城CCにて三田会10名・当方8名の参加を得て行われました。生憎の雨と寒さの中で悪戦苦闘の結果、ハーフで終了せざるをえませんでした。往復バスツアーのため温泉につかり、バスの中での表彰・懇談では大いに飲んで懇親を深め、春秋年2回有志による懇親コンペを催すことで合意しました。次回は当方の主催にて5月に開催いたしますので、皆さま奮ってご参加ください。今シーズンも例年同様4回にわたりコンペ開催を企画し、皆さまに大いに楽しんでいただくよう世話人一同知恵を絞っておりますのでご期待ください。

当会も、近年はレディース及びシニアークラスが大活躍ですが、今年は新入の方も含めぜひ若年世代の若さ溢れるプレーも見たいものです。本年のコンペ開催スケジュールは次の通り計画しておりますので、今から予定に組み入れていただくようお願いいたします。また入会希望の方は随時受け付けておりますので連絡をお待ちしております。

第62回 4月2日(金) 中津川CC

第2回 世田谷稲門・三田会懇親コンペ・5月14日(金) 日高CC

第63回 6月3日(木) 都留CC

第64回 9月14日(火) ファイアハンドレッドCC

第65回 11月25日(木) コース未定

(熊谷 慶紀/記)

## パソコン

毎月2回開催の定例会ではほぼ毎回菊池さんを中心に公式ホームページの更新および編集作業を行っています。以下、前号に続き勉強会等活動内容の概要をお知らせ致します。

11月・「各自パソコンから特定Eメールの解読方法」「ワードアートの特殊活用実演」。19、20日厚木市丹沢 七沢温泉(玉川館)にて温泉教室を臨時開催7名参加。地酒と強アルカリ鉱泉を堪能。

12月・「ソフト(ホームページビルダー13)への画像挿入操作」「外泊先から自宅の着信メール解読法」22日夕刻、故荒井清氏を偲ぶ会を三軒茶屋にて開催。

1月・「変換サイト(Tube Fire)を使ったダウンロード」「Microsoft Office Picture Managerの使用方法」

2月・「Craving ExplorerでYouTubeからWVM(動画)、MP3(音声)をダウンロード」

「白舟書体サイトで風雅印を作ろう」

3月・9日平成21年度総会開催「決議事項」

1. 次期世話人の選出(代表)高橋毅(企画)菊池吉晏、高橋昇三、岩城好宏(会計)薄井好雄(監査役)竹村晃 以上6氏。他に上田忠雄氏が相談役に。

2. 次期公式HPの対応 4月以降、全ての業務を本部へ移管。

23日定例会後NHKスタジオ見学(予定)。

なお、入会希望の方は経験技量に関係なくお気軽に世話人までお申し出ください。

(岩城 好宏/記)

## カラオケ

カラオケ部会の新年会を1月24日、昨年と同じ千歳船橋のカラオケスナック「マダム・チョウ」で開催しました。

当日は世田谷稲門会の岩上会長をはじめ男性15名、女性8名の計23名が参加されました。岩上会長の挨拶に続き長老92歳の桜木氏の乾杯の音頭、天野氏の「青い山脈」で熱唱の火蓋が切られました。

皆、素晴らしい喉を聞かせてくれました。紙面の関係で全部を掲載できないのが残念ですが、その一部だけを披露しますと、演歌では近藤氏の「対馬海峡」、歌謡曲では内藤夫人の「みだれ髪」、バラード系ではゲストの星野さんの「ラブ・バラード」、清水(延)氏の井上陽水の「ジェラシイ」、ムード音楽では裕次郎ものなどを歌われた豊田氏、塚脇氏、倉田氏、デュエットで「絆」を熱唱した脇坂ご夫婦など…素敵な歌に酔いしれたひとときでした。

楽しませてくれたのは岩上会長の「ダイアナ」のリズムに合わせてママがマラカスで踊った事、赤い絞りのねじり鉢巻でひばりの「お祭りマンボ」を唄った犀川さん、会場を抱腹絶倒にさせたのは裕次郎の「嵐を呼ぶ男」を清水(延)氏が唄ったとき熊本氏がボクサースタイルで合の手を入れ会場を大いに沸かせました。その他バラエティーに富んだ数々の名曲が披露され、楽しい新年会となりました。

尚、3月28日(日)三軒茶屋のカラオケ館で例会を行いました。

(清水 明雄/記)





## ボウリング

平成9年7月世田谷オークラブオウルにおいて、渋谷稲門会との合同開催をスタートさせて早や12年有余、最近が高齢化の影響で参加者が減少してまいりましたが、毎月快適な環境の中でお互い声援を送りながら投球を楽しんでおります。最近の活動状況は次の通りです。

11月22日(日)、参加者7名。156点：斎田裕二、124点：加藤隆夫、122点：天野善弘。斎田さん久しぶりでの参加でも、さすがに実力者。3ストライク、3スペアの投球での高得点はお見事!! 加藤さん、天野さんも制球力の良さで安定した得点。

12月23日(祭)、参加者8名。137点：天野善弘、131点：加藤隆夫、109点：高橋善一郎。天野さん、加藤さん共に前月の安定した投球を持続しての大満足の得点。高橋さんも大台を突破しての見事な健闘。

1月は日曜日の予約とれずに休会。

2月14日(日)、参加者6名。178点：天野善弘、153点：武藤哲、133点：高橋順子。天野さん、スピード、コントロール共に素晴らしく、5ストライクを含むほぼ完璧な投球で快心の高得点!! 小生武藤も2年ぶり初回からの3連続ストライクを出してビックリ。高橋夫人も2ストライク、3連続スペアを出しての大健闘。

ボウリングは足腰を強化しての体力の充実、ピンを倒したときの快感によるストレスの解消等メリットは沢山。年齢に関係なく、どなたでも気軽に始められるスポーツ、ご参加お待ちしております。

(武藤 哲/記)

## 写 真

今年も1月30日の世田谷稲門会新春懇親会の会場で恒例となりました写真部会の写真展を開催致しました。今年は6人11点の作品を1列に並べじっくり観賞頂けることが出来ました。今年も昨年10月に新規加入されました倉田 豊さん(昭43商)も思い切って出展されました。稲門会の多数の会員の皆様に自分の作品をご披露する事は励みでありレベルアップになります。

写真部会の例会は毎回第3木曜日、東京農大交友会館(グリーンアカデミーホール2階教室：世田谷区桜ヶ丘3丁目)で行います。今後の予定は4月15日(木)、5月20日(木)、6月17日(木)、



作品の説明を聞く会員。  
前列右側は桜木武比古先輩(昭21法)辛口の講評だが美術の造詣が深く適切なので会員から歓迎されています。前列手前は熱心にメモを取る新加入の倉田さん。

7月15日(木)で午前10時より始めます。会員の皆さんは例会には、その時作品が無くても出席して皆さんの作品を鑑賞して勉強しています。興味のある方は見学に来られて観賞されては如何ですか。歓迎致します。昼食は1階のレストランで取りカメラ、レンズ、プリント等の最新情報交換だけでなく、話題豊富で楽しい一時を過ごします。今後会員を順次紹介し、作品も選んで載せていくことを考えています。参観ご希望の方は代表世話人の種谷(たねたに)までご連絡下さい。

(種谷 鴻成/記)



世話人の川村保夫さん(昭34商)  
作品の説明(2010年1月例会)

TEL&FAX : 03-5433-7052

MAIL : tanetani@yd5.so-net.ne.jp

## ウォーキング

1月10日(日) 今年の第1回目は恵比寿ガーデンプレイスから六本木ヒルズへのタウンウォーク。晴天の下、15名が参加。サッポロビール恵比寿工場跡地のゆったりしたガーデンプレイスから広尾を経て有栖川宮記念公園を散策。周辺に散在する各国大使館を見て回り、大黒坂から麻布十番へ、老舗の「豆源」でお土産を買い、六本木ヒルズまで歩いていったん解散。この後、恵比寿ガーデンプレイスに戻り「ピアステーション恵比寿」で新年会を開催、13名が参加してにぎやかに懇談した。

2月14日(日) 通算で第90回目となるこの日は、京王線百草園駅から坂道を登って百草園で見ごろの梅を觀賞した後、程久保川遊歩道を経て土方歳三の墓がある石田寺、向島用水親水路を経て高幡不動尊に向かい、同地で解散。風のある寒天にもかかわらず20名が参加、長老の前原祖彦氏も最後まで元気に歩かれた。

今後のスケジュールを紹介しますので、気軽にご参加ください(いずれも日曜日・午後1時集合)。

5月 9日 深川界限めぐり。深川不動～富岡八幡～木場公園～霊巖寺～清澄公園～芭蕉庵史跡公園

5月23日 川越小江戸めぐり。川越駅～時の鐘～菓子屋横丁～氷川神社～喜多院～東照宮

6月13日 世田谷ウォーク。経堂大橋～水際の散歩道～芦花公園～高源寺～岩崎橋～久我山駅

7月11日 品川宿場めぐり。八つ山橋～荏原神社～板垣退助墓～海蔵寺～品川寺～青物横丁～大森海岸

連絡先：江原 利次 電話/FAX : 5760-7118

メール : toshi@r01.itscom.net

(岩村 明彦/記)



## 囲碁将棋

### 第5回「オール早稲田将棋祭」

3月6日、学生会館にて22名参加で行われた。当世田谷からは守屋、柴田の2名のみの寂しい参加となった。他稲門会も同様に囲碁より将棋の同好者が少ない。教育学部3年の女流棋士・熊倉紫野初段に2年連続の指導将棋をお願いした。美人でかつその強さは並々ではなく、3面を相手にほとんど勝ちまくった。OB及び現役学生の稲棋会の方々には審判、世話役を買って出ていただき感謝に堪えなかった。各々4回戦を闘い、Aクラスは横須賀の森三段、Bクラスは北区の志水二段が優勝された。世田谷は今年兩名共入賞出来なかった。最後に全員の記念写真を撮り、次の参加者の増員を願って散会した。(柴田 昇/記)

**囲碁部「杉の宿」合宿** 3月7日(日)朝10時。皆で成城学園前駅に集まり小田急で出発。湯河原にて昼食後「杉の宿」に1時半頃到着。直ちに囲碁を打ち始める。参加者7名の総当り。日曜の昼下がりのこともあり、対戦者はまばら。ゆったりとした大部屋で碁会は始まった。参加者は奇数なのでひとり余る。余った者は、対局の合間を縫って三々五々に風呂に行く。ここ本館の風呂はまた格別。夕食まで一人平均4局打つ。志水8段、池松6段が勝ち進む。夕食は新鮮な魚介類の豪勢な船盛2台を囲んで飲み放題の懇親会。部屋は貸し切り。カラオケセットもあり、久し振りで、星野4段が低音で星野節をご披露。あっという間の約2時間。カラオケタイムは終了したが、碁吉達は再び碁盤に吸い付き、夜が更けるまで打ち興じた。翌朝は朝食前に1、2局指し、その後湯河原梅林の散策も計画していたが、生憎の雨。止む無く梅見は中止。また碁に戻る。結局、1位は池松6段の6勝1敗、2位志水8段の5勝1敗に終わった。初参加の大月4段も3勝4敗と健闘した。以上、2日に亘り囲碁三昧に浸り、昼食後、「杉の宿」をあとにした。(矢田 廣/記)

## スポーツ観戦

### ラグビー対抗戦グループ2年ぶりに優勝

12月6日、珍しく快晴に恵まれた国立競技場で伝統の早明戦を20名が観戦しました。試合は開始早々2トライを先行され、意外にも前半は3対14でした。有力な主力選手が相次いで負傷し苦戦が続く中、後半控えの星野・櫻井両選手の活躍と速いパス廻りで早稲田ラグビーを展開して、16対14の逆転勝利でした。

今シーズンはトライ数で首位にいた慶応が帝京に敗れたため早稲田にチャンスが来た優勝でした。しかし今期の大学選手権では3連覇が期待されながら帝京に20対31で敗れ無念の残るシーズンでした。

ここ2~3年の経緯をみて野球・ラグビー・サッカー・アメフト・駅伝等スポーツ全般が他校に比較して強化策の対応が遅れているのではないかと懸念されます。

(岸田 正和/記)



## 麻雀

①平成21年11月15日(日)、晩秋の日本晴れに誘われ20名の善男善女が集い腕と口と運で入賞を目指した。試合は二回戦まで2位以下にダブルスコアで独走していた脇坂氏の楽勝と皆思ったが、同氏が遠慮している隙をつき三回戦、最終戦に大量得点をあげた吉村(善)、阿部、草野の各氏が頑張り同氏の優勝は夢と潰えた。優勝：吉村善智、準優勝：阿部信之、3位：草野昭次、4位：河村暉子、5位：脇坂元彦、6位：田島功統

②12月12日(土)、冬には珍しい暖かな一日、越冬資金の奪い合いというゼロサムゲームに28名の紳士淑女が参加した。試合は三回戦まで2位以下をダブルスコアで引き離していた田島氏が最終戦マサカの大失投で借金生活に陥り、手堅く得点を重ねてきた下谷内が僅差で逆転、掉尾を飾った。優勝：下谷内亮、準優勝：田島功統、3位：長谷川義樹、4位：永井憲一、5位：武田一成、6位：上保幸夫

③平成22年1月17日(日)、お屠蘇気分も抜けぬ肌寒い一日、コートの上を立って美男美女が28名集い今年の運勢を占った。白熱化した試合で、前回準優勝の田島氏が飛ばし三回戦まで好位置につけていたが、試合巧者の武田、吉村(善)、寺澤3氏に抜かれ、僅差で武田氏が他の三者を押さえ初優勝した。優勝：武田一成、準優勝：吉村善智、3位：寺澤隆夫、4位：田島功統、5位：池田良夫、6位：長谷川義樹

④2月13日(土)、小雨ソボ降る肌寒い一日、24名の麻雀愛好者が集い、暖房の効いた会場でしのぎをけずった。試合は参加者の大半がトップとビリを経験するという大白兵戦となり最終回まで纏れ込んだが、年末無念の涙をのんだ田島氏が当部麻雀史上最小の40点で、1点差に迫った桃井氏以下強者達を僅差でかわし悲願の優勝を遂げた。1位から7位までの点差が僅か12点という近來稀に見る大混戦となった。優勝：田島功統、準優勝：桃井清治、3位：河村暉子、4位：武田一成、5位：脇坂元彦、6位：河村卓郎

(下谷内 亮/記)



## 食べ歩き

(1) 11月27日、第42回例会を開催。参加者21名。東京港・竹芝「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」内「ラ・プロヴァンス」で岸田正和氏の司会で進行。初参加の中井盛久氏の自己紹介のあと大須賀肇代表世話人の挨拶・会務報告があり、武藤哲氏の乾杯発声で開宴。室内は豪華で格調高く、南フランスのリゾート地プロヴァンスの豪邸の雰囲気があり、同地方のフレンチと各地よりセレクトされたワインを堪能。ホテルの行き届いたサービスを受け各テーブルとも話題に花が咲き、会場は佳境に入り大いに盛り上がった。いつしか閉会の刻となり荘司真恵さんの閉会の挨拶で散会。ホテル回廊より晴天の東京港の眺望を満喫後、帰途銀座での仏像彫刻展（井山庄司会員出展）を拝観して芸術の秋の感動を新たにした。



(2) 当部会内規第5項による有志の会「東京競馬観戦の会」

11月15日、参加者37名で開催。東京競馬場（府中）のメモリアルスタンド貴賓室で昼食会・競馬観戦会を行った。多人数のため昼食会は着席和洋バイキングで各自様々な話題や情報交換に熱中、大いに盛り上がった。昼食会もそこそこにレース観戦に直行する人も居り賑やかな雰囲気となった。スタンドテラスに出れば足早に秋の訪れを告げる武蔵野の果てに聳える富士山は全容雪に蓋われ、強烈な日差しに冠雪が光り輝き誠に壮麗な雰囲気であった。各レースとも発進を待ち切れぬスタンドの大観衆の手拍子や大歓声のなか臨場感と昂奮を味わいレース観戦に熱中した。一気に艶やかさを増し鮮やかに色付いた周辺の木々の紅葉黄葉と常緑樹の緑が美しいコントラストを見せる光景を愛でつつ16時過ぎ解散した。

(大須賀 肇/記)

## 釣り

- 1月12日 新年会を銀座魚や一丁にて16名参加で行う。沖船釣り、湖沼河、鮎友、溪流、磯釣り多彩な釣種有り話題豊富のため時間を忘れての盛大な宴会となった。次年度の幹事役割も決定し、安全な楽しい釣りを楽しむ事を誓い散会した。
- 1月14日～16日 近堂、柴田参加で仙台地区でのカレイ、アイナメ釣りを堤防にて行う。時期悪く全く不漁。
- 1月31日 金沢八景相川丸よりカサゴ、イシモチ釣りに4名参加。カサゴは中山氏6匹。イシモチはほとんど入喰い。
- 2月21日 間口港喜平次丸よりヤリイカ、スルメイカ釣り。国澤、柴田2名。快晴なるも北風強風のため釣りづらく柴田4枚。しかしベテランは20枚釣っており回数必要。
- 3月5日 銀座魚や一丁にて幹事会開催。新年度釣行予定、会計報告、監査等。

(今後の予定)

- 4月24日 水郷真鮒乗込み釣り。
- 4月25日、5月8日 間口港利一丸より真鯛、アジ釣り。



(柴田 昇/記)

## ブロック会だより

### けやき

平成21年11月21日（土）、晩秋の一日、会員の地元・経堂で新装開店された和食・地魚鮓・しゃぶしゃぶ「咲くら領」二階和室に16名の美男美女が集い、外部講師を招聘せず出席者全員が講師と聴衆を兼ねる、という初の試みを実施した。

各自、近況とお考えを披露されたが、中でも我国憲法学の権威であられる母校並びに法政大学名誉教授の永井憲一先生による東都大学リーグの昨年の優勝校である立正大学野球部（永井先生が創設を提案され同校野球部の初代監督就任）創部時の御苦労を始めとする秘話は参加者の感銘を呼んだ。

その後、各人各様の活発なお話が続き、時間一杯の9時までの4時間の秋の夜長を楽しんだ。最後に校歌を斉唱し、手締めを行い次回会合での参加を約し散会した。

(下谷内 堯/記)



## 玉 川

## 【愛唱歌の会】「歌をうたう場」

皆さんはうたうことはお好きでしょうか。「それほどでも」と思っている方でも、街を歩いているときにBGMなどできこえたメロディーにふとあわせて鼻歌を……などの経験はありませんか？ 小学校や中学校で教科書に載っていて授業で習った歌、ラジオやテレビで聞きおぼえた歌、など気がつかないうちに記憶の底に眠っていたものが目を覚ましたりするものです。懐かしさに誘われて唄ってみたいと思ったら、歌詞がはっきりしなかったり「サビ」の部分はわかるけれど歌い出しはどうだったか？ 「愛唱歌の会」ではそんな歌を中心に皆さんと一緒に歌う場として月1回ずつ集まって丸5年経ちました。幹事の方からのご案内の日時に会場へ行って参加費として1回200円おいて下さればいいだけの会です。基本の楽譜として、のぼら社発行「愛唱名曲集」(¥1050円)を使っています。一般の書店でも置いていますし、amazon.co.jpでも購入できます。



(山本 厚子/記)

## さ くら

第20回総会を2月7日(日)11:30~14:00、桜新町のイタリア料理店『ラピアンタ』で開催。今回は食事を和食からイタリア料理に変えて、会場を以前と同じイタリアレストランのラピアンタに戻し昼食会と致しました。参加者は27名。特にさくら会世話人各位のご努力もあり、新たに入会された方は11名。そのうち今回の会合に参加された方々は下記の10名にのぼりました(卒業年度順)。

松尾守氏、原建司氏、小池早苗氏、細谷正勝氏、渡邊正明氏、照喜名隆氏、小泉威氏、秋田滋氏、石田忠明氏、中島史郎氏。その後、新たに会員になられた方は次の通りです。西脇宏尚氏、矢後勝洋氏、前野日出雄氏

1. 出席された新入会員の方々には全員に自己紹介をお願いいたしました。皆さんフレッシュな感覚の持ち主で、多彩な人材であると見受けられました。

2. 『わが人生を語ろう』今までやってきたこと、今もやっていること、今後やりたいこと。年配の方が多いため健康のこと、海外旅行のこと、最近の世相、今年の景気、政治等。趣味でも過去の仕事でも第1の人生、第2の人生でも、何かふつふつと燃える思いを誰でももっていると思います。前回までに中瀬正一氏、前原祖彦氏、関根昌一氏、上田忠雄氏、栗山佳三氏、若林昭男氏、柴田昇氏、井山庄司氏をお願いいたしました。

今回は、飯島勲氏に語って頂きました。氏は、ご尊父が早くから材木業界で経営者として活躍されたのを引き継ぎ2代目として業界の発展、変遷に携わり、特に市場である木場の移転等も経験され、40年以上に亘って仕事の傍ら、業界の育成を見守ってこられました。その間、日本の植林業及び製材業は時代の流れからか、南方材、ソ連材等の輸入材に取って代われ、日本国内では、輸入材が、それなりの市場を築いてゆきました。

(矢田 廣/記)

## 千 歳

11月28日(土)、見学会ならびに懇親会開催

## ① 見学会

13時30分、京王線高幡不動駅に集合、参加者9名。バスで「日野宿本陣」、「新撰組のふるさと歴史館」へ。案内人の誘導により館内の文化遺産を移動しながら見学、懇切でわかり易い説明により感嘆、当時の面影を偲ぶ。終って高幡不動尊へ移動、境内の庭園、寺院等建築物を自由に散策見学。再び京王線に乗って急ぎ下高井戸の懇親会場へ。

## ② 懇親会

17時30分~20時、居酒屋「たつみ本店」、参加者21名。今回は新入会員8名の出席を得てフレッシュな雰囲気。鈴木世話人より世田谷稲門会の現状ならびに新年会等今後の活動に関わる説明と報告あり、新入会員の紹介等あって、小生武藤の音頭でお互いの健康を祝して乾杯。宴会に入り、和洋折衷の料理にお好みのアルコールで盃を交しながらの歓談。各人より3~4分の自己紹介と近況報告あり。終って夫々自由に健康法、趣味・娯楽・スポーツの話、また政界談義、景気と株価、若かりし頃の思い出話等四方山話に花を咲かせての楽しい談笑。アツという間に予定の2時間も経過、鈴木世話人の締めで、次回元気な再会を約してお互い別れを惜しみつつ帰路につきました。

(武藤 哲/記)





## キャロット

2009年11月28日(土)午後6時より、キャロットタワー26階スカイキャロットに於いて、キャロット会の忘年会を22名の出席で開催致しました。

世田谷稲門会役員の川村保夫さんの乾杯の発声で始まり、天野泰久さん、池田正敏さん、鳥海博子さん、中井盛久さん、御園生勇さん5名新入会員の自己紹介があり、楽しく歓談致しました。

スカイキャロットは世田谷だけでなく、都内を見渡せる場所で、食べ物、飲み物だけでなく、景色も充分楽しみました。

2010年も11月27日(土)に同じスカイキャロットで開催する旨決定し、散会致しました。(富塚 兆弥/記)



## 西 北

**例会** 昨年12月1日(火)18時より第19回西北会を参宮橋「新日鐵代々木倶楽部」にて開催。参加者26名と過去最多でした。今回は岩村明彦氏(昭39年政経)をスピーカーとしてお迎えし、「回想のプラハ」—社会主義下の生活—と題してお話を伺いました。氏は日経の当時チェコスロバキアのプラハ駐在の特派員として昭和49年~52年まで駐在され、当時の共産圏下の生活がどんなものであったか興味深く聞かせて頂きました。生活必需品の牛、豚肉、野菜類は行列はするが格安で手に入り、衣類や高級品はウイーンまで外交官並みの特権で買出しに行き、その際は知人から色々買い物を頼まれたとのこと。ご存知の通り、現在はチェコとスロバキアに国は分かれています。プラハはチェコの首都で世界遺産の街として有名であり、数年前に旅した際、こんな綺麗な街で過ごせるなんて幸せだなと思ったことがありましたが、当時とはとんでもなく厳しく大変だった様でした。因みに女性は美人が多いとの事、東京オリンピックの体操で大活躍した美人のチャフラスカ選手はチェコ人です。その後、参加者に新規会員増強の協力をお願いをし、倶楽部の美味しい料理とお酒で賑やかに懇親会を催しました。

**初詣** 恒例の初詣を1月8日(金)夕刻、先輩の矢島さんが(昭32年法)宮司をされている代沢の北澤八幡神社にお参りをしました。矢島宮司のお話では今年庚寅年で、皇紀2670年に当たり、今年は景気も徐々に回復するであろう。特に一步一步着実な歩みが大事で、走ったり急いだりしないこと。また歩みを止めると元に戻ってしまうそんな年だそうです。その後は近くの美味しい魚料理やで今年一年の健康と幸せを願い、楽しく懇談をしました。参加者12名でした。

**西北雀会** 毎月第4木曜日、下北沢の雀荘に集い楽しくポン、チーと戦っております。通常3卓ですが何と1月は4卓で開催でした。ご希望の方は幹事桃井氏、熊本夫人までお申し出下さい。

(松浦 晋三郎/記)

## き ぬ た

去る2月28日(日)、新日鐵代々木倶楽部できぬた会を催しました。

朝のうちの悪天候も、昼ごろには回復、ゲストに本部から横田事務局長をお迎えして総勢20名、当会々員・



露木さんのお話を皮切りに、飲むほどに酔うほどに皆さんの会話が弾み会場は大いに盛り上がりました。予算オーバーしましたが!...

諸先輩から、いろいろとお知恵を拝借しましたが、結論をひと言で言えば「継続」ということになりましょうか。

5月の「定時総会」後、6月中旬ごろに、次回の集いをもちたいと考えています。

(吉村 豪介/記)



# 会員の広場

## パリでの個展

江口 瞳(昭三五年文)

昨年の四月下旬にパリで個展を開いた。私達は準備の為に一月にパリに入ったが、小雪の舞う寒い日だった。まだ冬のセーブル期間だったが、デパートは賑わいが無く、屈強なガードマン達がハンドバッグの中身まで調べて白けてしまう。一日ルーブル美術館に行ったが、広場には地べたに座り込んだマダグレブの家族が薄汚れた毛布をかぶり雨に打たれていた。この冬は路上生活者が三百人死んだとか。

四月七日、新緑の美しい季節に私達は再びパリに入った。オペラ座に近いパサージュ・ジュ・シヨワゼルのギャラリーを二週間借りて、二十五点の絵を展示した。一点を除いて、十五世紀の技法で描いたルネッサンス絵画模写だ。愛国心の強いフランス人に敬意を表して「モナリザ」は



持っていかず、フランス画壇の大御所アングルの「トルコ風呂」をメインにした。大きいので船便で送った。

初日には百五十人ほどの人が入ってくれて上々の出だしだった。次の日のヴェルニサージュには二百人ほどの客で賑わい、ほとんどの人が「売ってほしい」と言ってくれたが、抵抗するのに疲れた。「売らないのに何故展示するのか」とか「売らないでどうして食べているのか」とまで心配してくれた。

結局、千五百人ほどの人が来てくれた。ルーブルの学生が来たら、友達がいる。先生がくる。職員が、修復家がくる。一人が観たら何人もの友達にメールをする。私はパリにメールをする友達もいなかったのに、最後の日、ひどく目の悪い日本の男の子が来た。「アビニヨンの外人部隊から休暇を貰ってきた」と言う。「この後アフガンの最前線に向かう」と言う。どうぞご無事で帰って来てください。

## 早大スキー部インカレ連覇

### 四十四年ぶりの快挙

倉田 秀道(昭五九年社会)



私は数年前、監督に就任した後、大学の要請により勤務先(面白い損保)から早稲田大学に出向、フルタイム監督となり一層の強化が進展し、二〇〇七年に四十年ぶりに大学日本一となりました。そして昨年、今年と一九六四年、六五年以来の連覇を達成しました。



イシヨニング体勢整備など、強化体系の構築を行ってきた。半面、失敗したことも多々あります。その経験が契機となり、選手との会話を増やしながらマネジメ

去る一月、第八十三回全日本学生スキー選手権大会(インカレ)で、私が監督を務めるスキー部は四十四年ぶりの連覇を果たしました。ノルディック八種目全てに優勝、大会史上最高得点を獲得し古豪復活を印象づけました。

今年、九十周年を迎えるスキー部は一九二〇年(大正九年)に創部、インカレでは北海道大、明治大などと優勝を分け合うなどスキー界を牽引してきましたが、六七年以降は部員不足などで長い間低迷期が続きました。それでも近年、荻原健司氏(現参議院議員)らオリンピック選手を輩出するなど気概を示してきました。



時代の流れもあり、「歴史・伝統」と「変革」の狭間で選手とともにもがいてきました。監督として、まずチームづくり、大学日本一に向けた強化計画、個人の競技力をいかに伸ばすかという課題に着手しました。

最も重要な柱となる強化の環境づくりとして、コーチング体勢構築・高所トレーニングの導入・海外トレーニング拠点(フィンランド)との提携・リコンデ

ント・ガバナンス・人間力といった領域にも注力しています。「WASEDA」を背負って戦う主役は選手一人ひとり。大事なことは選手がいかに納得してトレーニングをするか、結果として選手層の底上げとトップ選手を世界に輩出する強化を図ることです。バンクーバー五輪にはスキー部から卒業生を含む四選手が出場しましたが、大学日本一を連覇したことで、世界で戦う彼らの支えにもなつたと思っています。

最後に、選手を応援していただいた校友の皆様にご心より感謝申し上げます。(早稲田大学スキー部監督)



# 長寿及び下り坂人生についての一考察

矢田 廣 (昭三四年法)



最近の新聞によると、日本人の百歳を越えた人の人口が四万人を上

回ったとの記事が出ていた。一年間に約一万人づつ増えているという。この調子で行けば向こう五、六年で百歳以上の方々は十万人を突破する勢いである。そのこと自体は大変お目出度いことである。確かに五体健全な状態なら言うことはないが、普通の人は五〇〜六〇歳を過ぎる頃から足腰、臓器を含めて、何らかの故障がおき、医者の厄介になることも少なくない。

昨今の医療の進歩はめざましく、手術を受けたり、又、薬並びに健康食品に名をかりたものもかなり出回ってきており、これらを服用することでのいであることが多くなる。一般に七〇歳から八〇歳までの間は、この状態で、大した努力をしなくても、やっていけると言われているが、八〇歳から九〇歳にかけて、又、

九〇歳以上になると、医者の話では、特別な人を除き、個人的に健康維持についてかなり努力しないと、長生きしても折角の一度の人生を楽しく過ごすことが出来ないようである。

では何をどう努力すればいいのか。移動の自由を確保するために足、腰の衰えを遅らせること。ボケの進行を防ぐための努力をすること。声を出して人と積極的に会話をすること。以上については月並みだが、まずは早朝に一日一時間半程度の散歩。一番効率的なのは、ウィークデイの昼間、人の少ないときをねらって、スポーツクラブで足腰専用のマシン等の力を借りて、自分のペースで、部分的に脚と腰を弱らせない運動をする。更に水中ウォーキング等をして、最後に風呂に入って帰れば最高である。

ボケは誰でもほっておけばじわじわ進む。防止対策は毎日記憶することである。勉強することである。語学を勉強することがボケ防止には一番良い。NHKラジオの英語又は他の言語を、必ず一日に短文でも単語でも何でもよいから、自分のペースで少しづつ記憶

すること。因みに私は、最近ではスペイン人と友達になり、スペイン語でスペイン人とインターネットをやっている。外国語でインターネットをすることは、ボケ防止に大変良いと言われている。お陰で、文章を書くために辞書を引くことが億劫でなくなった。毎日家族を含めて一日最低一〇人の人と会話をすること。その際できるだけだけ笑うこと、笑いを馬鹿にしないこと。月に一度は落語を聴きに行き笑い癖をつける。芝居や美術館巡り、明るい映画等を見て感動する癖をつける。笑ったり、感動したりする機会を意識的に増やす。その結果、笑い涙が出て来ても大いに結構である。

人間の体は、取替えの効かない、古くなったポンコツ自動車と同じようなものだ。忍び寄る足腰の老化やボケに対して、上記のような方法で、足腰の衰えを防ぎ、ボケ対策等を実践することは、車の両輪のようなもので、どちらが欠けても楽しい人生は送れない。いつまでも末永く愉快な人生を送るためには、集団で協力して助け合い、共に努力することも必要なことだと思っ

ている。

## 校友会一二五周年

### 稲門祭十月十七日(日)開催

校友会設立一二五周年を記念した稲門祭が十月十七日(日)に開催される。今回は福田秋秀校友会代表幹事が実行委員長となり一二五周年を祝した特別バージョンで開催する。



稲門祭記 念品の収益は大学に寄付し、母校・在学支援に役立てており、昨年新たに「稲門祭奨学金」を設立、三十三名の奨学生が誕生している。今年さらには多くの学生を支援できるよう協力しましょう。

## 事務局だより

一月三十日(土)、長年親しんできた「こまばエミナース」での最後の新春懇親会が百四十名を越える参加者の下、盛大に行なわれました。当日の野球評論家・荒川博氏の講演

は王選手を育てられたご苦労話など含蓄の多い心に残るお話でした。

新会員の皆さんの加入も、各ブロックでのご努力のおかげで順調に増え、会員数も大台の四百名を突破、さらに増加の勢いが続いています。五百名への目標目指して引続き区内在住の知人校友への入会案内などご協力よろしくお願致します。

青年部会が一月に発足しました。フレッシュな活動が大いに期待されます。また広報・パソコン部会HP編集委員のご尽力により当会ホームページが充実しました。会員の皆さんには、URL(会のホームページアドレス)を「お気に入り」や、「デスクトップ」などに登録され、閲覧にご協力ください。

五月二十二日(土)に年度総会が予定されています。新会場での総会をご期待下さい。新会員の皆様には、世田谷稲門会会員としてのスタートになりますので、是非ご参加ください。梅から菜の花、水仙、桜へと季節の花が楽しみな時節です。皆様、お元気で過ごして下さい。(武居 達治/記)



## 新入会・退会・住所変更等のお知らせ

平成22年3月5日時点

名簿〔平成21年3月発行〕後、会報40・41・42号掲載以降分〔敬称略〕

〔新入会員〕

| 氏名     | 卒年・学部  | 郵便番号 | 住所 | 電話 | FAX |
|--------|--------|------|----|----|-----|
| 井出 義亮  | 昭44 商  |      |    |    |     |
| 伊東 勝英  | 昭42 教育 |      |    |    |     |
| 大松 澤晴実 | 昭38 政経 |      |    |    |     |
| 田坂 辰彦  | 昭38 政経 |      |    |    |     |
| 村川 敏彦  | 平06 法  |      |    |    |     |
| 岡崎 孔一  | 昭35 政経 |      |    |    |     |
| 植原 正人  | 昭42 文  |      |    |    |     |
| 照喜名 隆  | 昭44 文  |      |    |    |     |
| 水口 拓   | 昭38 法  |      |    |    |     |
| 小池 早苗  | 昭40 商  |      |    |    |     |
| 桜井 和恵  | 昭43 教育 |      |    |    |     |
| 菅原 俊軌  | 昭47 教育 |      |    |    |     |
| 渡邊 那智子 | 昭36 文  |      |    |    |     |
| 細谷 正勝  | 昭43 教育 |      |    |    |     |
| 原 建司   | 昭40 商  |      |    |    |     |
| 小泉 威   | 昭44 法  |      |    |    |     |
| 秋田 滋   | 昭45 法  |      |    |    |     |
| 渡邊 正明  | 平43 文  |      |    |    |     |
| 田中 邦彦  | 昭45 法  |      |    |    |     |
| 田下 佳彦  | 昭46 理工 |      |    |    |     |
| 石田 忠明  | 昭46 法  |      |    |    |     |
| 田部 井好文 | 昭46 政経 |      |    |    |     |
| 池田 裕   | 昭40 政経 |      |    |    |     |
| 前野 日出雄 | 昭46 商  |      |    |    |     |
| 矢後 勝洋  | 昭40 政経 |      |    |    |     |
| 小池 敏彦  | 昭46 政経 |      |    |    |     |
| 朝倉 輝明  | 昭44 商  |      |    |    |     |
| 西脇 宏尚  | 昭37 理工 |      |    |    |     |
| 石橋 隆雄  | 昭45 法  |      |    |    |     |
| 西嶋 多聞  | 平06 理工 |      |    |    |     |
| 下田 達郎  | 昭39 政経 |      |    |    |     |
| 森 博紀   | 平09 政経 |      |    |    |     |
| 山田 正周  | 昭36 商  |      |    |    |     |
| 井口 昭   | 昭48 商  |      |    |    |     |

個人情報につき不掲載

〔退会会員〕

| 氏名    | 卒年・学部  | 理由 |
|-------|--------|----|
| 井上 雄治 | 昭37 政経 |    |
| 石川 一朗 | 平03 教育 |    |



〔住所変更・訂正〕

|       |        |  |  |  |  |
|-------|--------|--|--|--|--|
| 小口 浩一 | 昭45 法  |  |  |  |  |
| 山田 有宏 | 昭31 法  |  |  |  |  |
| 千葉 里奈 | 平08 法  |  |  |  |  |
| 奥田 隆  | 昭28 文  |  |  |  |  |
| 岩城 好宏 | 昭34 理工 |  |  |  |  |

〔新入会員追加・3月20日時点〕

|       |        |  |  |  |  |
|-------|--------|--|--|--|--|
| 花沢 隆  | 昭49 理工 |  |  |  |  |
| 鈴木 秀夫 | 昭41 政経 |  |  |  |  |
| 太田 晴康 | 昭50 文  |  |  |  |  |
| 塚本 幹雄 | 昭48 法  |  |  |  |  |
| 分部 満  | 昭50 社会 |  |  |  |  |
| 二宮 忠利 | 昭39 政経 |  |  |  |  |
| 工藤 隆司 | 昭44 政経 |  |  |  |  |
| 榎並 俊一 | 昭46 政経 |  |  |  |  |
| 前川 裕  | 昭46 法  |  |  |  |  |

世田谷稲門会ホームページもぜひご覧ください。

(Google, Yahooで「世田谷稲門会」で検索して下さい。)

<http://homepage3.nifty.com/setoupa/>